

# 消費生活情報おかやま未成年者版

～甘いだけじゃない！？チョコレートと児童労働の苦い関係～

2月14日はバレンタインデー♡

バレンタインデーは、大切な人にあま～いチョコレートと共に感謝や想いを伝えるおなじみのイベントですね。でも、そのチョコレートってどこから来たものか意識したことってありますか？




そのチョコレート、開発途上国の児童労働とつながっているかも？



チョコレートは主にヨーロッパや日本で消費されます。原料であるカカオ豆の供給は、そのほとんどをアフリカの開発途上国に頼っています。開発途上国では、児童労働が社会問題になっており、その数は1億5200万人！実に全世界の児童の10分の1が児童労働により、満足な教育を受けられない現実があります。

その温床の一つとして、カカオ豆農家の貧困があります。先進国がチョコレートを安価に製造するために、カカオ豆農家は、不公正な取引を強いられ、満足な収入を得られず、児童労働に頼ってしまうのです。（フェアトレード・ジャパンHP参考）

生産者を助けたいと思ったら…

**エシカルなチョコレート**   
を買ってみよう！（以下ラベル参考Q）



**国際フェアトレード認証ラベル**

原料や製品の継続的で適正な取引により、開発途上国の生産者を支えていることを証明。

Q ほんの一例です！

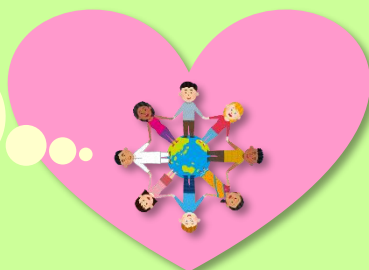


**レインフォレスト・アライアンス認証マーク**

環境・社会・経済面の持続可能性について、定められた基準をクリアしている製品であることを証明。

買った人も  
もらった人も  
生産者も

ほっこり  
甘い気持ちに♡



ラベルが無くても、商品がどのようにして作られたか調べてみましょうQ  
人や社会に配慮しているものであれば、それはエシカルなチョコレートです 